

最近の話題・トピックス

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の診療」

呼吸器内科 舟口 祝彦

2019年12月から中国・湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎は、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)が原因と判明し、現在までヒト-ヒト感染によって流行が世界的に広がっています。飛沫感染が主体と考えられ、換気の悪い環境では、咳やくしゃみなどがなくても感染すると考えられています。また、ウイルスを含む飛沫などによって汚染された環境表面からの接触感染もあると考えられています。有症者が感染伝播の主体ですが、発症前の潜伏期にある感染者を含む無症状病原体保有者からの感染リスクもあります。潜伏期は1~14日間であり、曝露から5日程度で発症することが多いとされています。発症前から感染性があり、発症から間もない時期の感染性が高いことが市中感染の原因となっており、SARSやMERSと異なる特徴とされています。感染可能期間は発症2日前から発症後7~10日間程度と考えられています。本邦における入院を要したCOVID-19症例のレジストリ(COVIREGI-JP)の2,600例の解析によると、入院までの中央値は7日であり、頻度が高い症状は発熱、咳嗽、倦怠感、呼吸困難でした。下痢は約1割にみられ、味覚障害(17.1%)、嗅覚障害(15.1%)は海外の報告よりも頻度が低いようです。酸素投与を要しない症例が62%、酸素投与を要した症例が30%、人工呼吸管理やECMO(体外式膜型人工肺)による集中治療を要した症例が9%であり、このうち7.5%が死亡しました。

COVID-19肺炎の画像所見を特発性間質性肺炎の分類(画像パターン)を用いて解析すると、重症のものから、急性間質性肺炎、急性線維索性器質化肺炎、非特異性間質性肺炎、特発性器質化肺炎に類似する画像所見になります。胸部CT検査にて明らかな陰影を認

めないにも関わらず、低酸素血症を呈する場合があります。肺微小血栓がその病態であると考えられます。

重症化のリスク因子として、65歳以上の高齢者、悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、2型糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満(BMI 30以上)、喫煙、固形臓器移植後の免疫不全が挙げられます。リンパ球数の低下、CRP、フェリチン、Dダイマー、LDH、KL-6などの上昇は重症化あるいは予後不良因子として知られています。

軽症はSpO₂が96%以上、呼吸器症状なしまたは咳のみで息切れのない状態であり、多くは自然軽快しますが、発症2週目までに急速に病状が進行することがあり注意が必要です。中等症ⅠはSpO₂ 93%超96%未満、息切れがあり、肺炎所見が見られる状態であり、中等症Ⅰ以上では抗ウイルス薬であるレムデシビルの使用が考慮されます。中等症ⅡはSpO₂ 93%以下の呼吸不全状態であり、経鼻カニューレや酸素マスクによる酸素投与を要します。中等症Ⅱ以上では、ステロイド薬の使用によって予後改善効果が認められるため、デキサメタゾン6mgを10日間使用する治療が推奨されています。重症はICUへの入室や人工呼吸器が必要な状態であり、人工呼吸管理開始後も進行性に悪化する場合はECMOによる管理が検討されます。

COVID-19の患者の診療ケアまたは疑い患者で検体採取などの手技を行う場において医療スタッフは、接触予防策および飛沫予防策として、ゴーグル(またはフェイスシールド)、N95マスク、手袋、長袖ガウン、帽子を着用し感染防御を徹底しています。患者にマスク着用を促すこと、環境消毒と十分な換気により二次感染リスクを低下させることが重要です。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種による効果が期待されますが、変異株に対して効果が低下する可能性やアナフィラキシー症状などの副反応が危惧されます。

最後に、当科では呼吸器感染症の診断・治療の他、肺癌の診断・治療、胸部画像診断、COPD・喘息でお困りの症例など幅広い呼吸器疾患に対応させていただきたいと考えています。先生方のお役にたてるような診療と連携を心掛けておりますので、よろしくお願いたします。

新任医師のご紹介



4月より
外科
准教授
すぎもと たくや
杉本 琢哉



4月より
麻酔科
教授
わかまつ まさき
若松 正樹



4月より
皮膚科
教授
せいしま まりこ
清島 真理子



4月より
消化器内科
教授
むらかみ よしき
村上 善基



4月より
呼吸器内科
講師
いしがき ひろし
石垣 裕敏



4月より
消化器内科
助教
おやま ゆうすけ
雄山 裕亮



4月より
脳神経外科
助教
しみず ようへい
清水 陽平



診療医のご案内

(令和3年4月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	村上/中畑	八木	坂元	村上/向井	雄山/中畑	担当医
	予約診	小島	大洞	小島	中畑	福田	—
	予約診	八木	雄山	村上	坂元	向井	—
循環器内科		瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	川口(智)	次田	担当医
		田中(新)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	(月1回不定期) 土井/大倉(宏)
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	安田 (非常勤)	大野	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科	1診	佐々木	武田	佐々木	佐々木	武田	武田
	2診	杉本(美)	杉本(美)	梶浦	杉本(美)	杉本(美)	佐々木
	3診	梶浦	—	—	梶浦	—	—
呼吸器内科		石垣	舟口	豊吉	舟口	豊吉	石垣
睡眠医療センター		—	—	大倉(睦)	大倉(睦)	—	大倉(睦)
外科		操	田中(秀)/杉本(琢)	—	太和田	田中(秀)/太和田	担当医
乳腺外科	1診	川口(順)	川口(順)	川口(順)	川口(順)	川口(順) (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	北澤	北澤	—	間瀬 (非常勤)	北澤	
脳神経外科		石澤	郭	岡	石澤	大倉(睦)	郭
		岡	熊谷	加納	清水	—	加納
整形外科	初診	河合・足立	吉田	池田/山賀 (2・4週目)	星野	前田	担当医
	予約診	—	—	足立	河合	大友	今泉 (第1週)
	予約診	青芝	星野	前田	吉田	日下 中島(午後)	塚原・河合 (第2週)
	予約診	池田	今泉	日下	塚原	今泉	松岡 (第1・3週)
皮膚科		清島	—	—	—	—	—
眼科	1診	佐本	佐本	佐本	—	佐本	—
	2診	—	—	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原(英)	土屋 (非常勤)	江原(英)	江原(英)	江原(英)	江原(英) (第1・3週)
		—	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤 (第2・4・5週)
婦人科	完全予約	中川 (非常勤・第3午後)	—	早崎 (非常勤・午後)	横山 (非常勤・午後)	—	—
放射線治療科		田中(修)	田中(修)	田中(修)	牧田 (非常勤)	田中(修)	—
頭頸部外科 耳鼻咽喉科	1診	長谷川	長谷川	非常勤	松塚	長谷川	松塚
	2診	—	松塚	—	—	松塚	—
歯科・口腔外科	6階	谷口/大橋(静) 岩崎/稲垣	谷口/大橋(静) 岩崎/稲垣	岩崎 稲垣	谷口/大橋(静) 岩崎/稲垣	大橋(静) 岩崎	担当医
	5階	村松/長縄 高橋/江原(雄)	村松/江原(雄) 渡邊/高橋/鶴飼	長縄/渡邊 高橋/江原(雄)	江原(雄)/長縄 渡邊/高橋	村松/江原(雄) 渡邊/高橋/鶴飼	担当医

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)

●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。